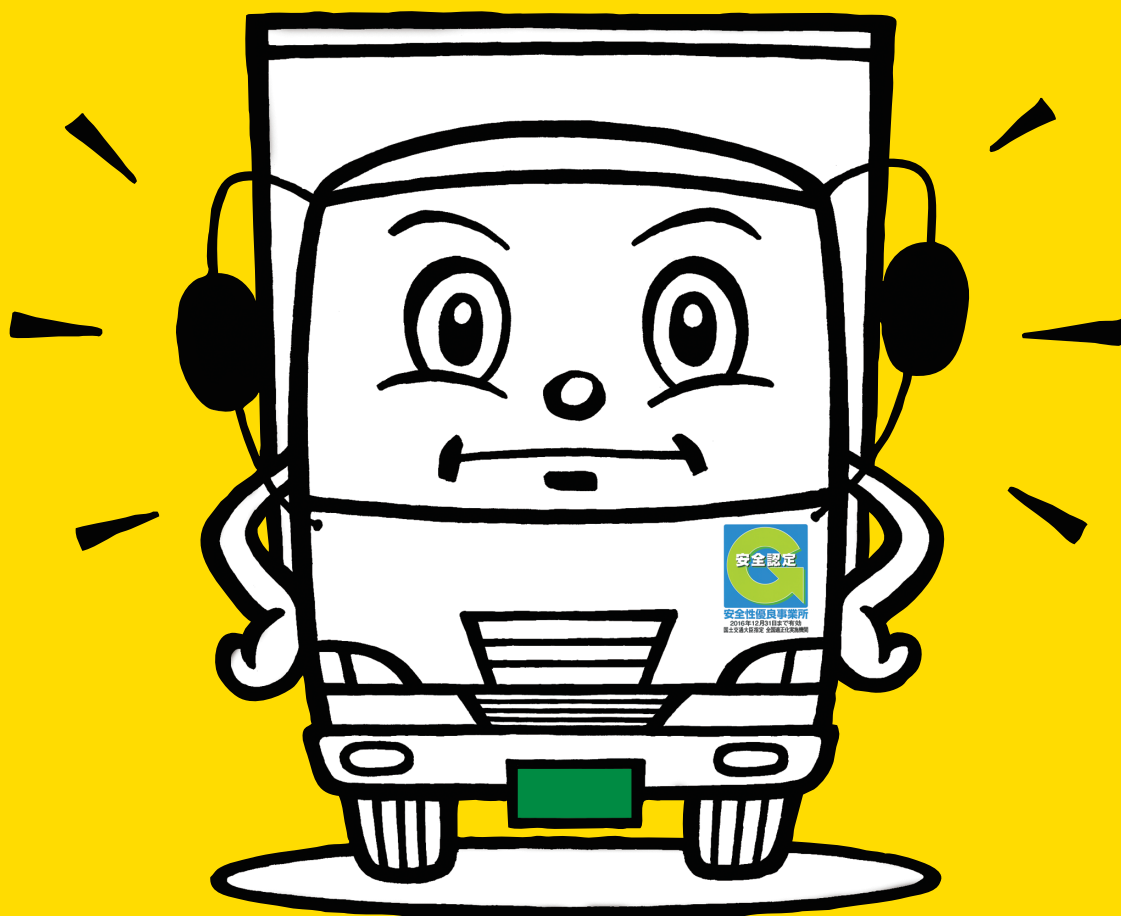


アイドリングストップ特別キャンペーン

直ちにストップ🖐️ 不要なアイドリング!

駐停車時のアイドリングストップにご協力ください。



- トラック運送業界では、年間165億リットルもの燃料を消費しています。
 - 地球温暖化をはじめ大気汚染、騒音の防止、さらに燃料価格の異常な高騰で、トラックの燃料消費抑制が内外で求められています。
 - 冬季は、厚手の衣類やエアヒーターなどのアイドリングストップ支援装置などを上手に活用し、可能な限りエンジンを止めてください。
- また、トラックステーション及び高速道路のSAなどの休憩施設を積極的に活用しましょう。

※温度管理が必要な貨物を輸送している冷凍・冷蔵車及びDPFの再生時などは対象としません。

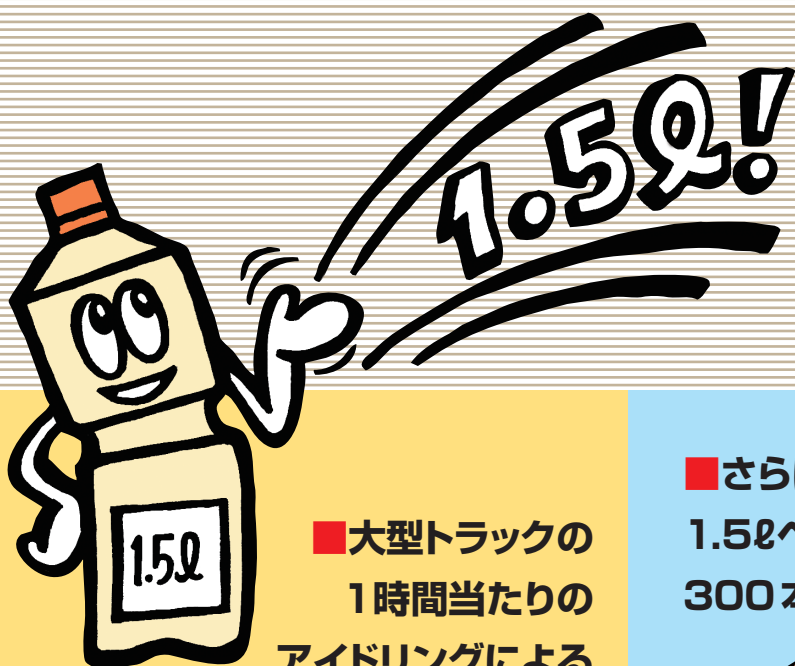


公益社団法人

全日本トラック協会 燃料高騰対策本部

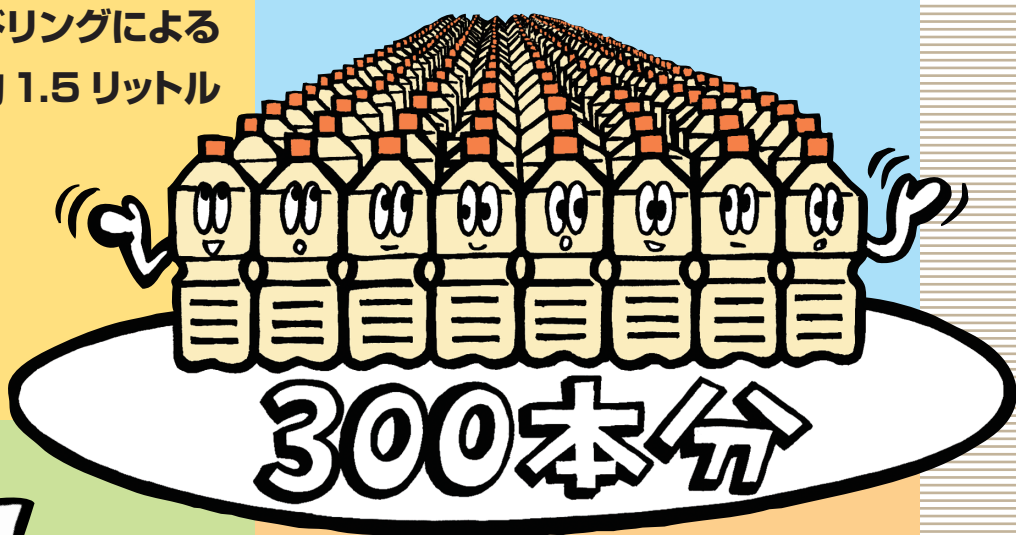


アイドリングストップによって
経済的ロスを抑えられます。



■大型トラックの
1時間当たりの
アイドリングによる
燃料消費量=約 1.5 リットル

■さらに、1年では、
1.5ℓペットボトル
300本分(450ℓ)のロス!



■大型トラックの
1時間当たりの
アイドリングによる
燃料価格 1.5 リットル × 138 円 / ℓ
(平成 25 年 10 月末現在軽油単価)
= 207 円

■さらに、
毎日 4 時間アイドリングを
続けると、
月間にして燃料代が
20,700 円のロス!

1ヶ月で
20,700円!